



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「どきどき どつきんぐ」

★今回の道徳の授業のねらい

生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てます。

★お話のあらすじと内容

うさぎと自分の心臓の鼓動が重なった感動を早く母親に伝えたい「わたし」。でも、玄関前で転んでしまい、心配して出てきた母親にぎゅっと抱きしめられます。母親と自分の鼓動が重なると、「わたし」の鼓動も速くなくなっていくことの不思議さに気づいたという内容です。

生命を尊重する態度は、人間のすべての行動の基本であります。この学習を通して、命あるものを大切にしようとする心情を育てます。

★子どもたちの授業の振り返り

- ・どきどきが速くなったり、元通りになったりすることを初めて知りました。
- ・死んだら悲しいので、死にたくないです。
- ・私は、生きているからこんなに幸せなんだと思えました。
- ・僕は、命がないと嫌だなと思えました。
- ・心臓が止まると怖いので、生きて頑張りたいです。
- ・私もお話を聞いて、どきどきしました。

★家庭で話し合っしてほしいこと

生命の尊さについて、子どもは何となく理解していますが、生きていることの素晴らしさを分かっているとは限りません。心臓の鼓動の変化や、その不思議さに気づいた「わたし」の気持ちに共感することを通して、子ども達に命について考えさせました。

そして、自分や人が、そして動物も生きていることを実感し、生命を大切にしようとする心につなげていきたいと思っています。

生命あるものすべてをかけがえのないものとして尊重し、大切にしようとする心情を育てることは、子どもの人間形成にとって極めて重要なことです。人や動物の赤ちゃんの写真を見ながら、生あるものの温もりについて、お子さんと話し合ったり、命の尊さについて、親の気持ちも添えたりして、いろいろな機会に伝えてあげてください。